

農空間

第60号

発行所
福島県農林水産部
農村計画課

【特集】日本型直接支払制度の創設について

農村地域は、農地法面の草刈りや水路泥上げなど地域の共同活動等により支えられてきました。しかし、高齢化・人口減少等により、国土保全、水源かん養および景観形成等の多面的機能が発揮されない状況にあります。

このため、国は農業を産業として強化していく「産業政策」と車の両輪をなす「地域政策」として、農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や農業生産活動の継続、環境保全に効果の高い営農を支援する日本型直接支払制度を創設しました。平成26年度は経過措置として実施し、27年度から法律に基づき実施することと準備が進められています。

この直接支払は「多面的機能支払交付金」(新規)、「中山間地域等直接支払交付金」(継続)、「環境保全型農業直接支払交付金」(継続)の3本柱で構成されています。

1 多面的機能支払交付金は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮の観点から、地域内の農業者等が共同で取り組む地域活動を支援します。

「農地維持支払」

農振農用地内及び地方公共団体が多面的機能の維持の観点から必要と認められる農振白地等を対象として、農業者等(農業者のみの組織でも可)による活動組織により①農地を農地として維持するための共同活動(農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補充等)、②農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成等に支援します。

「資源向上支払」

農振農用地内を対象として、農業者と非農業者による活動組織により①地域資源の質的

○10aあたりの交付単価は下表のとおりです。

(※資源向上支払①で5年以上の継続地区等は7.5割単価が適用されます。)

地目	資源向上支払①		同左②
	基本単価(円)	7.5割単価(円)	
田	3,000	1,800	4,400
畑	2,000	1,080	2,000
草地	250	180	400

向上を図る共同活動(水路等の軽微な補修)や多面的機能の増進を図る活動(植栽による景観形成、ビオトープづくり等の農村環境保全活動、②施設の長寿命化のための共同活動(農地周りの農業用施設などの補修・更新等)を支援します。

○10aあたりの交付単価は下表のとおりです。

地目	区分	交付単価(円)
田	急傾斜	21,000
	緩傾斜	8,000
畑	急傾斜	11,500
	緩傾斜	3,500
草地	急傾斜	10,500
	緩傾斜	3,000

2 中山間地域等直接支払交付金は、中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や機械・農作業の共同化等、農業生産活動を将来に向けて維持するための活動を支援します。

○10aあたりの支援単価は下表のとおりです。

対象取組	支援単価(円)
カバークロープ	8,000
炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用	4,400
有機農業(そば等雑穀・飼料作物)	8,000 (3,000)

3 環境保全型農業直接支払交付金は、農業者等が実施する化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みとセットで、地球温暖化防止や炭素貯留に効果の高い営農活動および生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組み場合に支援します。

【農村振興課】

新宮川ダム管理所便り

熊クマの里、会津美里湖

会津美里町にある新宮川ダムを紹介いたします。

まず、ダムに来るには、会津若松市から国道401号線で昭和村方面へ向かい、松坂トンネル中間部にある管理道路への入口をくぐれば、管理所に来ることができます。

隠れ里のようなところにダムがあり、目立たなく初めての方には解りづらいかも。

4月と5月には、ツキノワグマが連日出没しますし、加えて絶滅危惧1B類のクマタカも管理

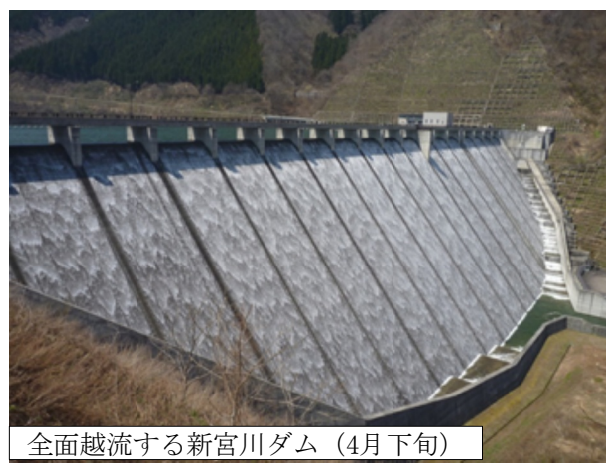


新緑の新宮川ダム (5月下旬)

所上空に飛来します。4月下旬には、ダム湖が満水となり全面自由型洪水吐から、織細で綺麗な越流が見れました。現在は、新緑でもとても良いですが、積雪が2mにもなると聞く冬が怖いです。



ダム湖に飛来したクマタカ (4月下旬)



全面越流する新宮川ダム (4月下旬)



ダム管理所から湖面を望む (2月中旬)



管理道路に出没したツキノワグマ (4月下旬)

ダム概要等は、県のホームページを見てください。また、現地見学も随時受け付けていますので、ご連絡お待ちしております。【新宮川ダム管理所 菅野正義】

「夫食為人天、農為國本」

農林水産部次長 (農村整備担当)

後藤庸貴

最近「産業政策と地域政策」という言葉をよく耳にします。一般的に「産業政策」とは政府の誘導によって特定の産業の発達を加速するなどして産業構造を変化させる政策を言い、「地域政策」とは暮らしやすい魅力的な地域とするための政策を言うことです。

現在本県では、多くの皆様の支援を受けながら東日本大震災からの復旧を進めています。本県農業は依然として耕作放棄地の増加や生産基盤整備の立ち遅れ、農業水利施設の老朽化など震災以前からの問題も抱えた

ままとなっています。このため、復旧と併せて本県農業の復興を目指し、「産業政策」としては、農業生産性の向上や担い手への農地集積を進め、農地の大区画化、老朽化した農業水利施設の長寿命化や耐震対策等を、「地域政策」としては、農業農村の持つ多面的機能の維持・向上や、農地集積により担い手に集中する水路や道路の管理を地中で支える仕組みを進めていかなければなりません。

この言葉を肝に銘じ、本県農業農村の復興に向けた道のりは長くとも、あきらめず最善を尽くし、それを積み重ね、必ず復興を成し遂げる所存であり、後とも皆様の支援を

ふくしま復旧便 - 県内からのお便り -

いわき

津波被災から農地再生へ
いわき市沿岸部の復興基盤整備

いわき市では津波被災を受けた5地区において除塩を実施し、平成24年までに作付けを再開しました。

このうち、四倉町下仁井田、平夏井、錦町・勿来町閑田では、地盤沈下のため満潮時に排水不良が起り、排水ポンプの運転回数が震災前の約3倍になっていくことから、平成25年度からほ場の大区画化、排水対策及び担い手育成・農地利用集積を進める農地整備事業を実施し、また排水ポンプの増設も計画して



下仁井田地区 道路築立・基盤整地工を施工

ます。下仁井田地区、錦・閑田地区は平成25年度に着工し、現在、重機が盛んに稼働しています。夏井地区も今年度着工する予定です。

計画から着工までの期間が短かったため、地域の合意形成、工事業者や資材の確保及び悪条件下の作業など、様々な課題に直面しています。県は地域の期待に応えるため、受益農家を始め地元の皆様と意見を調整しながら、一日も早い営農再開に向け、事業の円滑な推進に日々努めているところです。

【いわき農林事務所】



夏井地区 農地の盛土材を搬入

地域に根ざした水土里ネット
地域の協力大切に

進んでいこう

下郷土地改良区

ほ場整備事業

大竹めぐみさん



空から見た倉楯地区

下郷土地改良区は、昭和27年4月24日に設立。事務所は二岐山を背に、周りは自然に囲まれたとても静かな場所にあります。下郷町の人口が6千461人に対し、組合員が1千166人。殆が高齢者ですが、中には若い人たちが頑張っている地区もあります。

現在、国道121号線沿いにある倉楯地区で、基盤整備事業が行われていきます。平成20年度に採択となり総事業費1億1900万円、受益面積62.2ヘクタールの農地について27年度完

成を目指し、集積を図っております。事業完了に向け、確定測量が行われてい



夏井地区 受益者への事業内容説明会



錦・閑田地区 軟弱地盤の中での施工

福耕支援隊情報 - 農村整備第一課 -

平成26年度も既に第1四半期が過ぎようとしております。相双農林事務所には、現在24名のメンバーが熱い思いとともに復興に向け邁進しております。今回は、農村整備第一課にて、海岸復旧に取り組んでいる7名から一言を頂きましたので紹介いたします。

想像していたより復興道半ばと感じました。派遣期間は6、7月の短期間になりますが、少しでもお役に立てればと思っております。

新潟県 市村秀敏さん

福島県に来るのは初めてなので、この機会に福島を回り、案内できるぐらいになりたいと思っています。

滋賀県 宇野晋治さん

過去に、2回お手伝いすることが出来ました。なぜか中途半端で終わった感があり心残りでした。今一度、機会があればとの思いで定年を迎え、再任用

としてですが、お役に立てればと思っております。

埼玉県 町田昌司さん

福島県に参り2年目となりました。プロパー職員の皆さんに大変親切にして頂き感謝しております。仕事もプライベートも2年目では出来ないことを行えるようにがんばって行きたいと思っております。

山口県 波多野忠司さん

相双農林の皆さんのおもてなしによって、何の不自由も不安もなく仕事ができることに感謝感激です!!

愛媛県 和田忍さん

北海道から3ヶ月の派遣期間で4月から来ました。「福が満開、福のしま」を実感しました。ガレキが無くて、ガレキ処理中であつても桜の花はいたるところで綺麗に咲いています。満開の様子は、心を癒し、復旧・復興に勇気をもたらしてくれていると思えました。徐々に進む”復



ストーンクラッシャー施工状況



円筒分水工

ある円筒分水工がとても印象的でした。研修で学んだ事を無駄にしないよう、これからも基盤整備事業の助けが出来ればと思っております。

地権者・組合員とのコミュニケーションを大切に、できるだけ要望に応えられるよう努力していきたいと思っております。

編集後記

記事の投稿に協力していただいた皆様に感謝申し上げます。先日関係機関等に配布しました冊子「農村・森林復興への道」は好評で、追加の配布要望が殺到しています。震災以降、伝えなければならない風潮を、伝えればプラスに感じていきます。冊子はまだまだありません。増刷も予定しています。連絡いただければ、すぐにお送りします。またホームページにもデータを掲載して活用できるようにさせていただきます。(編集担当 M・N)



農村・森林復興への道



農村整備第一課の福耕支援隊メンバー

【相双農林事務所】

大分県 阿南亨さん

復旧・復興に向けて着実に前進していると感じました。少しでもお役に立てればと思っております。

旧・復興”は、桜の花の如く一気に満開を迎えると確信します。北海道 大庭忠信さん

「農空間」とは... 農村において繰り広げられる農業の営み、それを支える農地や水、人々の生活、そして、美しい自然に囲まれ長い間に培われた伝統・文化などが溶けあった空間のことです。